



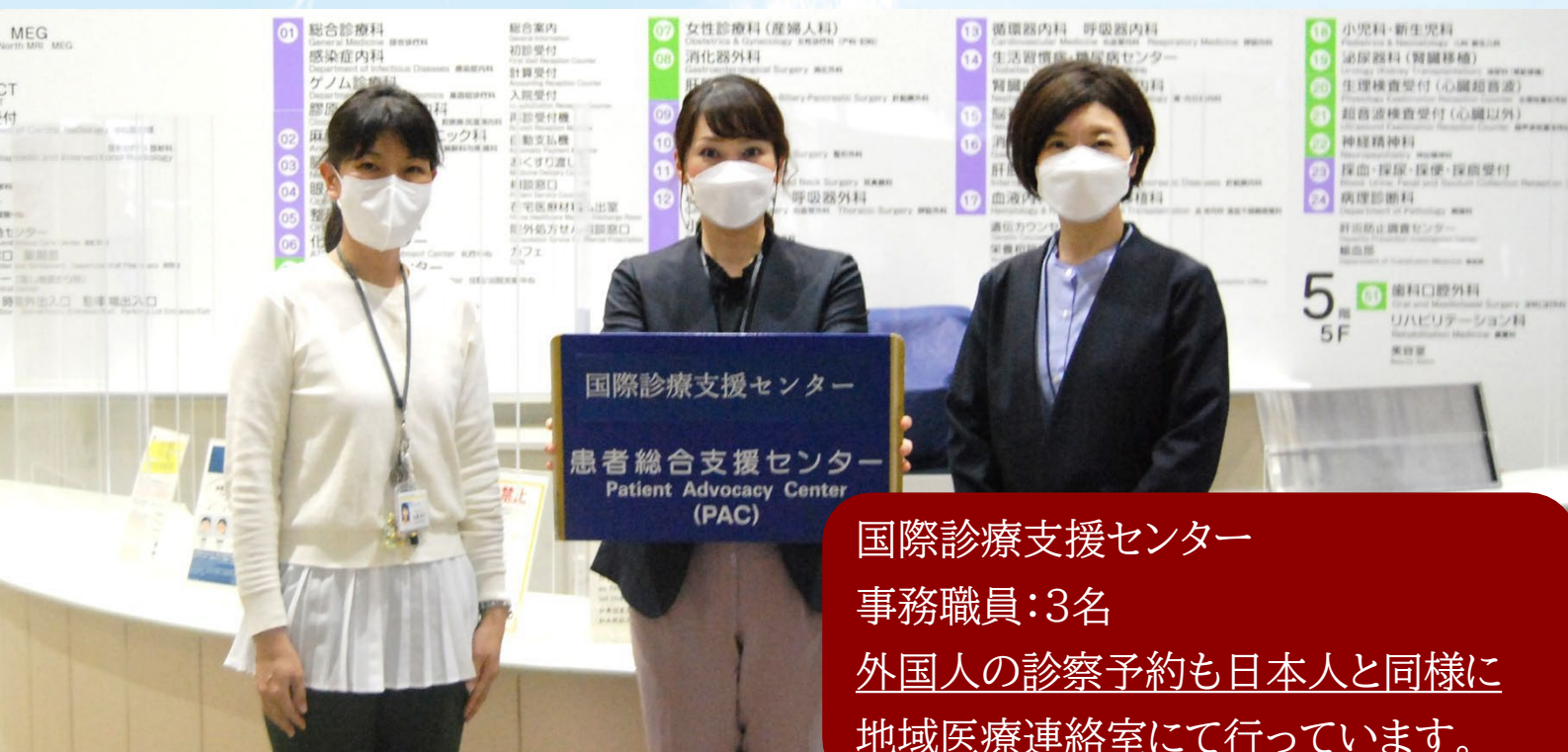
発行部署：患者支援課  
発行責任者：患者支援課長  
連絡先：06-6645-2857

# 患者総合支援センター たより

令和4年4月1日

## 大阪府外国人患者受入拠点医療機関

に選定されました。



国際診療支援センター  
事務職員：3名  
外国人の診察予約も日本人と同様に  
地域医療連絡室にて行っています。

「大阪府外国人患者受入拠点医療機関」とは、  
入院を要する救急の外国人患者に対応可能である、大阪府内の外国人患者の受  
入れに関する拠点的な医療機関のことです。

(大学病院としての医療提供の範囲であり、全ての外国人患者を受け入れられるものではありません。)  
拠点病院の選定に伴い、本年4月より患者総合支援センターに国際診療支援セ  
ンターを整備し、上記の専任職員を配置しました。日本人と同じように外国人  
にも良質な医療の提供のため、今後も他の拠点病院および地域拠点病院のみな  
さまと連携を深めてまいります。先生方には言語対応や外国人の受入れ状況な  
どお伺いすることもあるかと存じますが、引き続きご協力をお願いいたします。



# 開催報告 & オンデマンド配信決定

## 第45回 大阪市大における医療連携『Face to Faceの会』

日時 令和4年3月19日(土) 16時~17時 場所 あべのハルカス会議室25階

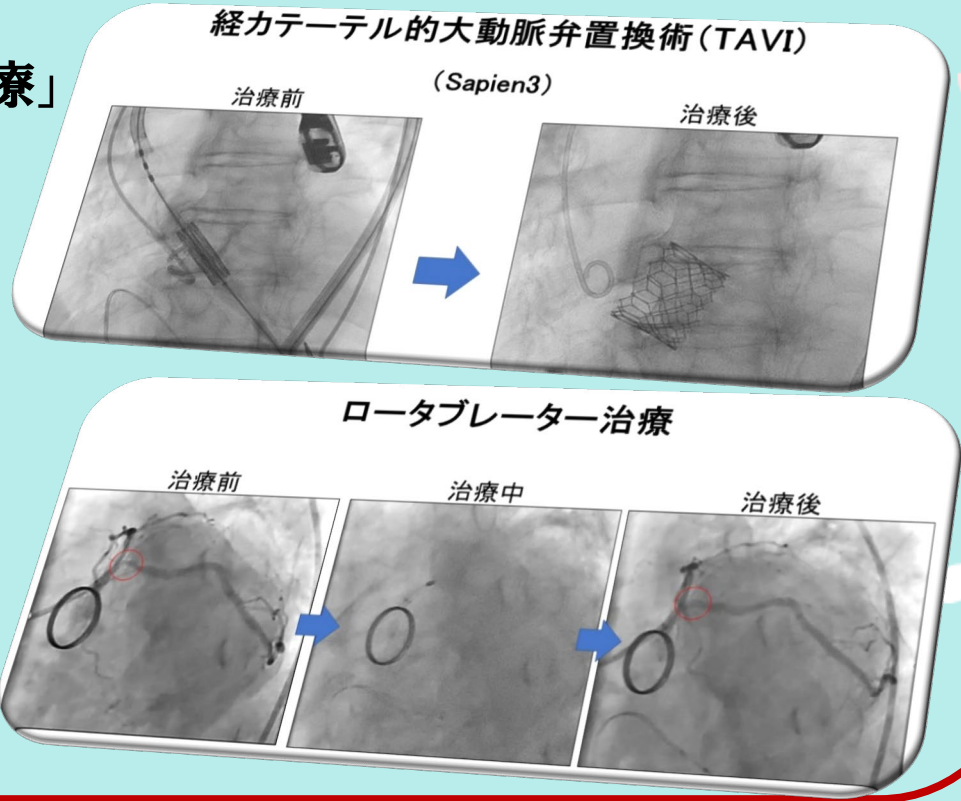
ハイブリット(会場+Zoom)形式

### 特別講演

#### 「心疾患の内科的治療」

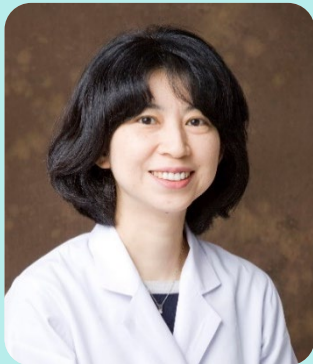


循環器内科 診療科部長  
福田 大受



### 一般演題

#### 「MRリニアックについて」



放射線治療科 診療科部長  
澁谷 景子

**MRリニアックシステムの特徴**

- ①高画質なMR画像にて、照射直前の腫瘍の位置を確認し、照準を合わせることができること
- ②その日の腫瘍や周囲の正常臓器の状態に応じて、再治療計画を行い線量調整が可能であること  
:即時適応放射線治療  
MR画像誘導即時適応放射線治療(MRgRT)
- ③ 高画質なMR画像にて、照射中にも腫瘍の位置をモニタリングできること

これまでの高精度治療がさらに高精度に

**定位放射線治療 (ピンポイント照射)**  
1回10グレイ以上  
X4~5回照射

治療効果の向上  
・安全な線量増加

適応の拡大  
・リスク臓器近傍の腫瘍  
・極小病変

新たな治療戦略  
・新規薬物療法や手術との併用療法

**強度変調放射線治療 (IMRT/VMAT)**  
30~39回照射

寡分割、短期照射へ  
1回10グレイ以上  
X4~5回照射